

2020年3月1日

日本郵便株式会社
信越支社 御中

日本郵政グループ労働組合
信越地方本部

「新しいかんぽ営業体制の構築」

オープン日前の情報漏洩に関する緊急要求メモ

2019年6月のマスコミ報道等により社会問題化した「かんぽ不適切営業問題」は、グループの信用とお客さまからの信頼を著しく損ね、その信用・信頼を取り戻すべく現場社員は日々努力を重ねている。

また、その信用・信頼回復は道半ばであり、本格的な営業再開には至っていないことから、日本郵便(株)ならびに(株)かんぽ生命保険の経営状況は予断を許さない状態にある。

そのような状況下において、2月25日に「新しいかんぽ営業体制の構築」が会社から周知された。この扱いについては、本部・本社間で定めた時期に情報周知が行われるものであるが、オープン日前に情報が管理者から漏洩された事案が複数の支部から報告されている。

信越地本は本事案により、会社のガバナンス強化に対する取組姿勢に疑義を抱くとともに、会社を信じて懸命に働く組合員を裏切る行為として重く受け止めるものである。これまでも、会社のガバナンスについては、課題を指摘したうえで、その改善を求めてきた経緯にあるが、あらためて支社と認識を共有する必要があることから、下記のとおり緊急要求メモを提出するので、すみやかに誠意ある回答を示されたい。

記

1. 本事案について支社として事実確認を行うとともに、確認された事案について発生した原因を究明すること。
2. 本事案についての支社の受け止めを明らかにするとともに、今後、このような事案を起こさないよう強い決意を持ち、支社長メッセージとして発信すること。
3. 支社内のガバナンス強化に向けた方策を策定し、確実に実行すること。
なお、その策定にあたってはJP労組信越地方本部と十分な協議を行うこと。

以上